



# 森と生きる。

林業に携わる全ての方に安全を。

— Forestry Safety News —



Vol. 6

## 目次 INDEX

- 🌲 山火事にご注意を!
- 🔥 燃料管理について

## 🌲 山火事にご注意を!

山火事が日本で起きているの?と感じられる方もいるかもしれませんが、実は全国で1日1件以上発生している現状があります。乾燥する冬~春(1月~5月)にかけて最も発生件数が多く、注意する必要があります。

### 国内での山火事に関するデータ(平成29年~令和3年の平均)

月別発生件数



参考:[消防統計(火災統計)](消防庁) (<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/statistics/>)を加工して作成  
参考:[山火事のおきやすい時期はいつ?](林野庁) ([https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/yamakaji/con\\_2.htm](https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/yamakaji/con_2.htm))を加工して作成

	出火件数	焼損面積	損害額
	1301件	724ha	3億5000万円
1日換算	4件	2ha	100万円

出火原因	焚火	火入れ	放火	たばこ	マッチライター	その他
	410件	240件	104件	62件	35件	450件

### 山火事を予防するために以下の行為に注意しましょう。

参考:山火事予防に当たって注意することは?(林野庁) ([https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/yamakaji/con\\_4.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/yamakaji/con_4.html))



- 枯草などが茂る場所では焚火を行わない。
- 火気使用中はその場を離れず使用後は完全に消火する。
- 強風時に火を起こさない。



- たばこの不始末・ポイ捨ては厳禁。携帯用灰皿を活用する。

### 現場で使用している機械も注意を!

林業機械は燃料やオイルを使用しており、**火災リスク**があります。リスクを軽減するためにどのような取組みができるか考えてみましょう。

#### 点検チェックポイント

エンジンやマフラー周辺の木くずやごみ等



燃料・オイル・作動油の漏れ



消火器の  
1.設置場所  
2.期限



始業前点検、作業後の清掃はこれらの火災リスクを大きく軽減するため、必ず実施しましょう。

また、機械の取扱説明書には火災予防の注意点が記載されています。火災予防の観点から、社内で機械の点検・清掃方法について改めて確認してみましょう。

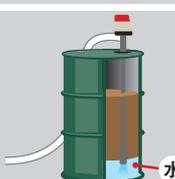
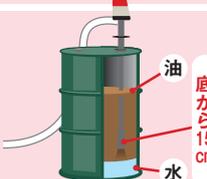


もしも火災が発生したら早急に119番通報し、詳細な場所と状況を消防に伝えましょう。

# 燃料管理について

機械を動かすために必要な「燃料」は、管理方法次第では燃料に不純物が混ざり、機械故障に繋がるケースがあります。今回、現場で実際に燃料管理を工夫されている事業者様にお話を伺い、以下の表にまとめてみました。皆さんの職場ではどのような管理を行っていますか？工夫事例を参考に直視していきましょう。

記事協力: 湯田林興株式会社様

	誤った燃料管理で起こりうる事例	現場での工夫例
置き場	 <p>ドラム缶を野ざらしにして内部へ水混入</p>	 <p>ブルーシートや保管庫等でしっかり覆う</p>
材質	 <p>内部でサビが発生し不純物が混入</p>	 <p>プラスチックや箱型に素材を変更する</p>
給油	 <p>燃料の状態を気にせず給油</p>	 <p>底から吸い上げず15cm程度浮かせて給油</p>

水と油は混ざらず比重の小さい油が水の上に浮く性質があります。両方の性質を理解することはトラブル防止にもつながります。



## ドラム缶 取扱注意事項

### 注意事項 鋼製タイトヘッドドラムの場合

参考: ドラム缶工業会「鋼製ドラムの取扱上の注意」より転載

- 1 充填前、納入1か月以内に使用
- 2 温度差が大きい場所での保管はドラム缶内の結露・内面へのサビ発生・水混入の恐れがあるので注意
- 3 充填後、屋外保管する場合、天板にドラムキャップを被せるか、水たまりの無い場所に天板を下に向け保管  
原則として屋内保管
- 4 屋外で長期間保管した場合、水漏れ・乾燥が繰り返されることによる外装劣化や、直射日光・寒暖差の影響で内容物の品質に悪影響を及ぼす恐れがあるので注意

※燃料は指定数量が定められています。詳しくは各自治体のHPを確認し、参考にしましょう。

### 事例 燃料に水が混入!

ドラム缶から直接林業機に給油を行ったところ、燃料に水が混入しており、エンジンがかからなくなった。



### 対策

- ・ドラム缶から給油する際は水の混入を防ぐため
- ・吸い込みは底から少し上げた状態で行う
- ・雨よけ等の対策を講じた管理をする

燃料は機械を動かすうえで欠かせません。社内全員で燃料管理の大切さについて、日頃から気に掛けることが大切です。

## 編集後記

秋になると、さつまいも・かぼちゃ・栗などを使用したスイーツがいたる場所で販売されます。この季節限定スイーツが楽しみで全て制覇したくなりますが、1日三食では追いつきません…。無限に食べられる胃がほしい今日この頃です。(レンタルのニッケン 林業部 I)

## レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン



### 森生(シンセイ)のご活用についてお願い

- 弊社は皆様の、安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、森生(シンセイ)の製作・配布に取り組みしております。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。
- 森生(シンセイ)の一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ず、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複写・複製・賃貸・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
  - 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
  - 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

P

編集・発行 / 2024年9月  
株式会社レンタルのニッケン  
林業部  
林業チーム  
林業安全向上委員会

お問い合わせ /  
株式会社レンタルのニッケン 林業部  
Mail: b010187@ml.rental.co.jp  
林業チーム宛  
FAX: 03-3289-6315

森生(シンセイ)で取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください。

✉ [nikken@rental.co.jp](mailto:nikken@rental.co.jp)